



MPLS アクセス リストの構成

- [MPLS アクセス リストの構成 \(1 ページ\)](#)
- [MPLS アクセス リスト構成の検証 \(2 ページ\)](#)
- [MPLS アクセス リストの構成例 \(2 ページ\)](#)

MPLS アクセス リストの構成

MPLS アクセス リストを使用すると、MPLS ラベルに基づいて MPLS パケットをフィルタリングし、フィルタリングされたパケットを構成済みのリダイレクトインターフェイスに送信できます。

手順

	コマンドまたはアクション	目的
ステップ 1	configure terminal 例 : <pre>switch# configure terminal switch(config)#</pre>	グローバル設定モードを開始します。
ステップ 2	[no]install feature-set mpls 例 : <pre>switch(config)# install feature-set mpls switch(config)# feature-set mpls switch(config)# feature mpls segment-routing</pre>	MPLS パケットの解析を有効にします。 これは、MPLS ラベルに基づいて MPLS パケットをフィルタリングするために必須です。
ステップ 3	mpls access list mpls-acl 例 : <pre>switch(config)# mpls access list mpls-acl switch(config-mpls-acl)# 10 permit mpls 1600 any redirect Ethernet1/15</pre>	着信外部 MPLS ラベルに基づくフィルタリングを使用して、mpls-access リストを構成します。 この例では、着信ラベル 1600 と MPLS パケットが一致し、Ethernet1/15 にリダイレクトされます。

	コマンドまたはアクション	目的
ステップ 4	(任意) copy running-config startup-config 例 : <pre>switch(config)# copy running-config startup-config</pre>	(任意) 実行構成をスタートアップ構成にコピーします。

MPLS アクセス リスト構成の検証

MPLS アクセス リスト構成を表示するには、 の作業を実行します。

コマンド	目的
show mpls access lists	MPLS アクセス リストの情報を表示します。

MPLS アクセス リストの構成例

次の例は、MPLS アクセス リストを構成する方法を示しています。

```
switch# configure terminal
switch(config)# install feature-set mpls
switch(config)# feature-set mpls
switch(config)# feature mpls segment-routing
switch(config)# mpls access list mpls-acl
switch(config-mpls-acl)# 10 permit mpls 1600 any redirect Ethernet1/15
switch(config)# copy running-config startup-config
```

翻訳について

このドキュメントは、米国シスコ発行ドキュメントの参考和訳です。リンク情報につきましては、日本語版掲載時点で、英語版にアップデートがあり、リンク先のページが移動/変更されている場合がありますことをご了承ください。あくまでも参考和訳となりますので、正式な内容については米国サイトのドキュメントを参照ください。